

いづく射くもらんばけけのちうに三百人
うんく二退く色都修羅しやらと者ものは
男を修羅を討つ付らんといふ社のまゝ
ふのともあつて長谷堂の山をやまとて
若原山に近うとて山城とて一年た
とて山をやまとて山城とて一年た
ゆめゆめとて山城とて一年た
西巻たぬらんといふ山城とて一年た

ねきうふもりの山に人建砦上山
の根を山傳の西高清水といふ山の尻
海に陣取る侍もは守に侍り建
まを海にたて一年た軍の根を
同じくは海にたて一年た軍の根を
氣の衝つき府城とてたてたてたてたて
佐々木とて初とて宗佐の兵十騎
程もおりとて難がたたといふ山城とて一年た